

[横浜にぎわい座]
 平成 29 年度業務計画及び収支予算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【目指す姿、果たすべき役割】

今後5年間の目指す姿を“大衆芸能が後世に受け継がれ、横浜にぎわい座が市民に愛され、その運営や事業を通じて市民生活や地域を活性化していること”、果たすべき役割を“あらゆる市民に対して、大衆芸能の持つ魅力や可能性を様々な手法を通じて働きかけること”としました。

にぎわい座の運営を担うことで、地域の活性化や、特色ある興行を目的とした来浜(=文化観光)促進などに取り組みます。大衆芸能は世代を越えて共に楽しめるジャンルです。アウトリーチなどを通じて高齢者の健康やコミュニティの活性化に資する事業を開発し、子どもについては学校教育との連携を図ります。大衆芸能はユーモアとニュアンスを含んだ豊かな日本語に触れる機会でもあり、このような特色を活かし、子どもたちのコミュニケーション力の向上や世代間交流にもつなげます。にぎわい座の運営を通じて、大衆芸能を後世に継承し、その豊かな可能性を現代社会に十分に活用していくことで、横浜の魅力を高め、芸術文化を通じた市民生活の向上に貢献します。

(2) 29年度の業務の方針及び達成目標

① 文化事業について

集客を向上させ、経常公演全体を安定的に実施します。社会の落語への関心の高まりを、観客創造・誘客・販売促進につなげ、大衆芸能への入り口としての役割を果たします。

アウトリーチや寄席体験プログラムの実施や教育機関との連携を通じて、市民や子どもの体験・鑑賞機会を増やし、大衆芸能と社会の関わりを深めていきます。

広報では引き続き、来館経験のない層や学生など若年層に訴求する手法を取り、また SNS を活用し、大衆芸能全体の知識や関心が高まる情報提供を行います。

事業を通じて地域を盛り上げ、その魅力を伝えるためのタイアップ企画を開発します。また、横浜トリエンナーレなどの市文化政策事業や近隣文化施設、地域に根差した活動を行う NPO や文化団体との連携を積極的に推進します。

② 施設運営について

貸館サービスの充実と利用促進のための PR 活動等により、施設利用率を向上させます。

利用にあたっては、舞台に関する専門的な対応やアドバイスを提供することで利用者の満足度を高めます。

また、利用受付や問合せ対応を行うスタッフの適正配置や研修、利用者に対する積極的な情報提供等により、申込みや各種手続きを円滑に受け付けます。

③ 施設管理について

利用者・来館者が、安心・快適に使っていただけるように管理に万全を期します。

特に、ビル全体の大規模修繕について、特段の注意と準備・計画により、無事故で工事期間を終了します。

また、開館 15 年目を迎え、経年劣化に伴う不具合等に関しても、随時適切な対処を行います。

④ 収支について

主催公演のチケット販売数を増やし、自主事業収入を増収させます。そのために公演内容やチケット販売方法を改訂します。事務費、光熱水費を抑えて有効的に経費を執行し、事業収入を柱とした収入構造を作ることで、健全な施設経営を実現します。

4 業務の取組と達成指標

(1) 文化事業について

ア 大衆芸能の公演、講座その他の事業の企画及び実施

[目指す成果]

- ・毎月 1 日から 15 日の経常公演を、これまでの実績を活かして確実に実施し、事業の基軸とします。28 年度にリニューアルした寄席形式公演「横浜にぎわい寄席」は、様々なタイアップや団体誘致を行い、落語や寄席に馴染みのない層にもアピールし、観客数の増加に繋がります。
- ・同じく定番公演の「名作落語の夕べ」も公演内容を改訂し、内容の充実と観客創造を図ります。
- ・歌丸館長が目指す「垣根なく誰もが出られる演芸場」として、所属団体・流派に捉われないバラ

エティ豊かな出演者により、市民の大衆芸能に対するニーズに応える公演を開催します。

- ・同じく「将来の名人を育てる道場」として若手育成の取り組みを継続的に実施します。
- ・学校等と連携し、大衆芸能の鑑賞・体験を通じて、子どもの創造性や感性を育むとともに、教育現場に関わる人々に働きかけます。市民に向けては大衆芸能ファンに限らず幅広い層に当館を知っていただき、将来の観客創造につなげます。
- ・開場 15 周年を記念し、祝祭感と話題性のある公演を行います。若手育成など開館以来力を入れてきた取組みの成果の披露も織り交ぜて発信します。

[取組内容]

◇幅広い大衆芸能の演目の多彩な構成による魅力的な公演等の企画・実施

経常公演事業

- ① 毎月1日から15日まで芸能ホールで自主事業を連日開催。
- ② 所属団体・流派等に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民ニーズを満たす公演内容。
- 「横浜にぎわい寄席」(毎月7回)
落語と多彩な色物で寄席の芸と雰囲気を楽しめる公演。学割や子ども料金をPRし、新しい観客を招きます。

- 「名作落語の夕べ」(毎月1回)
古典落語を4人の演者がネタ出しで口演する、落語の名作をじっくり楽しめる公演。

- 企画公演(毎月8回程度)
落語・漫才・コントから喜劇や軽演劇等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日替わりで開催。

- 開場15周年記念事業(企画公演、にぎわい寄席と重複)
人間国宝・柳家小三治や柳家権太楼、立川志の輔ら人気落語家による公演をラインナップ。人気噺家の新シリーズのスタートや、毎年夏休みに実施しているこども寄席の春休み期間中の追加実施などで、開場15周年を盛り上げる。

[達成指標]

- 年間 200 公演以上開催。
- 合計入場者 月平均 3,185 人以上。
(寄席、名作、企画公演合計)
- 団体鑑賞をPRするタイアップ企画の実施。
- チケット販売数平均100枚以上。
- 「こども寄席」を年間2公演開催。
- 四月興行からリニューアル。出演者の幅を広げ、企画性の高い公演に改訂。チケット料金と販売方法も変更し、集客の改善を図る。
- チケット販売数平均 110 枚以上。
- 4～7月に記念事業を実施。
- 記念の顧客サービスを実施。
- 4～7月の総入場者数 16,000 人以上。

◇創造的で発信性のある取組みの実施

①創造・挑戦的な取組み

●企画公演(毎月8回程度)…再掲

ネタおろしや新作の発表やシリーズ公演の実施。東京落語と上方落語の比較公演など、にぎわい座ならではの公演を実現。

●のげシャール公演

小ホールの小劇場的空間を活かした落語、漫才、コントなどの公演や異色のコラボレーションなど。

●近隣文化施設や団体との連携による新しい舞台作品の創造

◇若手実演家育成の仕組作りと実践

●「登竜門シリーズ in のげシャール」

小ホールで開催する若手芸人が研鑽を積むシリーズ公演。

◇鑑賞者の拡大を図る取組、事業を支える仕組みの構築

●市民ニーズの把握と公演および施設運営への反映

●観客創造事業「大人のための寄席体験」
寄席の楽しさを知るトーク付きの落語会と演者を囲んでの交流会。

●貸切公演

団体からの要請により貸切公演を開催。新規顧客を開拓し、リピートにつなげる。

■演芸の歴史的な変遷を紹介する新しい企画公演を開催。

■柳家三三独演会新シリーズ「流れの豚次伝」11回連続公演を開催。チケットのセット販売(抽選方式)を採用し、顧客ニーズに応えるとともにインターネットを利用しない顧客にも配慮。

□年間10公演以上開催。

■狂言と落語のコラボレーションなどにぎわい座オリジナル公演を開催(横浜能楽堂と連携)。

■個性的なロケーションでの演芸会の実施(黄金町バザール2017参加)。

□年間20公演以上開催。

□入場者数平均100名以上。

□経常公演への起用5回以上。

□注目の二ツ目落語家の「名作落語の夕べ」への抜擢登用。

□全公演でのアンケートの実施

□市民サポーター等による公演モニタリングの実施4回以上。

□2回以上開催、合計参加者140名以上、初来館者60%以上。

□貸切公演6回以上開催、主催者の満足度4以上。

<p>◇市民の大衆芸能に関する学習活動や創作活動支援</p> <p>●寄席文化体験 紙切りや寄席文字など寄席に因んだワークショップや講座型公演。</p> <p>○「野毛まちなかキャンパス」 野毛や周辺の魅力を掘り起こす社会人向け大学講座に大衆芸能のコンテンツで参加。野毛地区街づくり会、横浜商科大学との共催事業。</p> <p>●バックステージツアー 普段知る機会の少ない舞台裏を、寄席を楽しむミニレクチャーを交えて紹介。</p> <p>●アウトリーチ 施設への来館が難しい方向けや個性的なロケーションでの実演で大衆芸能の楽しさを届ける館外活動。29年度は「高齢者福祉」を重点テーマに、福祉施設やNPOと協働で実施。</p> <p>◇子どもの創造性育成の取組み</p> <p>○寄席体験プログラム（6回） 近隣の小学生が落語鑑賞と寄席独特の鳴り物などを体験する公演。公益社団法人落語芸術協会との共催事業。</p> <p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム 「学校プログラム」 市立学校に出かけて行うアウトリーチ事業。</p> <p>○教育委員会、教育機関との連携事業</p>	<p>□2 講座以上の開催、受講者 50 名以上。 ■新たに企業との共催でも講座開催。</p> <p>□講座の共催開催 2 回以上、 会場提供 3 回以上、 にぎわい座職員の講師派遣 2 回以上。</p> <p>□一般向け（子ども向け含む）3 回以上、 団体向けオンデマンド開催 5 回以上。</p> <p>□高齢者施設での実施 3 回以上、 若手育成事業の芸人起用 3 回以上、 アウトリーチ先の新規開拓 2 施設以上。 ■市民サポーター協働のモデル事業としての実施。 ■個性的なロケーションでの演芸会の実施（黄金町バザール 2017 参加）…再掲</p> <p>□参加児童 1,800 人以上。 ■事業の実施効果を高めるための教員向け講座の事前開催。</p> <p>□コーディネート 3 校以上。</p> <p>■要請に応じて実施。アウトリーチ、大衆芸能を主題にした教員向け研修会など。</p>
--	---

イ 大衆芸能に関する情報の収集及び提供

[目指す成果]

- ・大衆芸能に関する多様な情報を収集し、適切に提供することで大衆芸能の魅力を広く伝えます。

この分野の専門施設として相談や各種照会に対応し、市民ニーズに応えます。

- ・自主事業広報は、公演毎に訴求ターゲットを意識してデザインや使用ツールを改訂し、新たな鑑賞者やファンを獲得します。
- ・展示事業は大衆芸能を紹介するものに加え、近隣学校やNPO等との連携も交えて実施し、より多くの市民に足を運んでいただく機会とします。

[取組内容]

情報収集および提供

●公演情報の収集

大衆芸能公演や市内の文化事業のチラシ、ポスターを配架。

●公演記録の活用

過去の公演記録を活用し、大衆芸能のアーカイブ化と継承に活用。

●情報提供、相談対応

専門施設として外部からの相談に対応。

広報

●広報、ホームページ、情報発信

チラシ、ポスター、ホームページ及びSNS等により、公演情報を提供。

●メディア懇談会

記者や編集者を対象にした懇談会を開催し、活

[達成指標]

■より分かりやすく手に取りやすい配架方法に変更。

■チラシラックには「スタッフのお薦めコメント」を付けて、親しみやすさを付加。

□電子大福帳にすべての公演情報を入力。年間200件以上。

■「名作落語の夕べ」過去186公演分の上演演目をホームページ等で公開。

■自主事業で特にアーカイブ化が必要とされる公演を選定し、映像を公開。

□催事開催に関する相談対応や出演者の紹介などのコーディネート業務20件以上。

■チーフプロデューサーを中心に大衆芸能に関するレクチャー、授業を実施。

□WEB会員を対象に、メールマガジンを年間12回以上配信。

□Twitterを年間400回以上配信。

■Twitterは公演や開館案内だけでなく、地域の行事や大衆芸能に関するミニ知識など多彩な内容で配信。

■チラシは公演やシリーズごとに訴求対象を明確にし、それに合わせた仕様を採用。

■区民優待デーや沿線住民優待デーなどキャンペーンを利用して、にぎわい座について各地域で広報を実施。

■財団広報ACYグループと連携したプレスリリースの実施。

□年1回以上開催。

<p>動を紹介</p> <p>展示事業・館内演出</p> <p>●展示事業 2階展示コーナーで常設展、企画展、特別展を開催。</p> <p>●館内装飾 エントランスほかに季節の装飾等を行い、来館の楽しさを高め、ホスピタリティ向上。</p>	<p>□企画展として「中島修展」のほか、写真展や寄席文字展など4回以上開催。</p> <p>□「黄金町バザール2017」サテライト展示</p> <p>□市民団体や近隣学校と連携した特別展を2回以上実施。「野毛大道芸展」など。</p> <p>■常設展も解説や展示方法を改訂し、展示の質を向上。</p> <p>□季節の館内装飾は年間6回以上展示替え。</p> <p>□市内のアーティストと連携した館内装飾を1回以上実施。</p>
--	--

ウ 街のにぎわいづくりへの寄与

<p>[目指す成果]</p> <p>地域の活性化を目的に、「野毛地区街づくり会」ほか地域の団体の活動に協力し、街のにぎわい創りに貢献します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>●野毛地区の飲食、物販業と連携したプロモーション活動。</p> <p>●公演鑑賞と飲食の楽しみで相乗効果を図る取組の実施。</p> <p>○野毛地区主催のイベントへの協力</p> <p>●MM21地区からの誘客</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■野毛地区飲食業協同組合の「野毛通手形」（飲み歩きクーポン）に参加。</p> <p>■公演チケットと野毛通手形等の組み合わせによるタイアップ実施。</p> <p>■大規模合コン「街コン」に参加し、若い新規来館者を獲得し、野毛への誘客も実現。</p> <p>■のげ茶屋（野毛地区飲食業協同組合運営）と連携し、公演鑑賞を更に楽しくする飲食サービスの提供。</p> <p>□野毛地区街づくり会内設置の「にぎわい座利用促進委員会」との共催事業の実施5公演以上。</p> <p>■野毛大道芸など地域主体のイベントへの協力。</p> <p>■MM21地区の就業者の交流団体（MMcc、かもめスクールなど）向けにイベント実施し、野毛への誘客を実現。イベント実施3回以上。</p>

エ 市民と大衆芸能をつなぐ取組

<p>[目指す成果]</p> <p>地域に根差した施設として、多くの市民の方に支えていただく仕組みとして新たに市民サポーター制度を作り、大衆芸能の楽しさとそれを支えるにぎわい座の役割を広めていただきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●にぎわいスタッフの力を活かした施設運営 ●市民サポーター始動 ●職業体験、アートマネジメント実習 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □にぎわいスタッフの声を活かすために、改善提案アンケートを年2回以上実施。 ■チケット販売促進プロジェクトの推進。 □アウトリーチ、鑑賞者開拓、広報活動等での活動実績5件以上。 ■学校や学生からの要望があれば積極的に受け入れを実施。

オ 都市戦略および他施設との連携

<p>[目指す成果]</p> <p>市内で開催されるフェスティバル事業等に積極的に参画します。にぎわい座の舞台芸術分野におけるポテンシャルや、アクセス上の優位性などを十分に活用し、他の施設や組織と協働で事業を実施することで、横浜独自の魅力ある事業の国内外への発信に取り組みます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>都市政策・施設連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「ヨコハマトリエンナーレ 2017」協力 ●2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連企画 ○「横濱ジャズプロムナード 2017」運営協力 ○「TPAM－国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2017」協力 ○「横浜ダンスコレクション EX 2018」のげシャール公演共催 ●アフターコンベンションでの来館促進 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■同時開催される「黄金町バザール 2017」に参加し、ともにヨコハマトリエンナーレ盛り上げに寄与。 □組織委員会からの要請に合わせて、連携企画、広報協力などを実施。 ■外国人による公演モニターを実施。 ■会場運営チーフに職員を派遣。 ■TPAM 参加カンパニーに対して小ホールを優先的提供し、公演運営に協力。 ■小ホールを優先提供し、公演運営に協力。 ■会議関係者に対するニーズ調査の実施。

<p>●修学旅行や横浜遠足での企画商品化</p> <p>●地域文化施設との連携…再掲</p>	<p>□旅行企画商品化 3 件以上。</p> <p>■狂言と落語のコラボレーションなどにぎわい座オリジナル公演を開催（横浜能楽堂と連携）…再掲</p> <p>■個性的なロケーションでの演芸会の実施（黄金町バザール 2017 参加）…再掲</p>
--	--

(2) 施設運営について

ア 大衆芸能等の公演、練習、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[取組内容]</p> <p>① 基本的な施設の提供</p> <p>② 利用料金の改訂</p> <p>③ 貸館の運営体制</p> <p>④ 要望・苦情への対応</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① ■開館予定日数・時間</p> <table border="1" data-bbox="715 734 1423 884"> <tr> <td>開館日数</td> <td>341 日 (月 2 回 施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>10 時～22 時</td> </tr> </table> <p>■利用料金について（平日、入場料無料時）</p> <table border="1" data-bbox="654 981 1423 1079"> <thead> <tr> <th></th> <th>10:00～12:00</th> <th>13:00～16:30</th> <th>17:30～22:00</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸能ホール</td> <td>25,600</td> <td>44,800</td> <td>70,400</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="654 1126 1423 1370"> <thead> <tr> <th></th> <th>10:00 ～12:00</th> <th>12:30 ～14:30</th> <th>15:00 ～17:00</th> <th>17:30 ～19:30</th> <th>20:00 ～22:00</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小ホール</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>9,600</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>制作室</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> </tr> </tbody> </table> <p>② ■小ホールと制作室のセット割引を設定。 ■利用状況を踏まえ附帯設備セット内容を変更。</p> <p>③ ■管理担当職員 1 人を貸館メイン担当とし、舞台技術者とともに公演打合や利用相談を担当。 ■見学対応は全員で実施。 ■舞台技術スタッフは芸能ホール 3 人、小ホール 1 人を基本とし、小ホールは利用状況に応じて 2 人体制として安全管理に注力。 ■舞台技術統括責任者は経験 10 年以上、残り 4 人も経験 5 年以上。</p> <p>④ ■貸館に関する要望、苦情はすべて副館長まで報告。</p>	開館日数	341 日 (月 2 回 施設点検で休館)	開館時間	10 時～22 時		10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00	芸能ホール	25,600	44,800	70,400		10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600	練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600	制作室	900	900	900	1,100	1,100
開館日数	341 日 (月 2 回 施設点検で休館)																																				
開館時間	10 時～22 時																																				
	10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00																																		
芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																		
	10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00																																
小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600																																
練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600																																
制作室	900	900	900	1,100	1,100																																

	<p>■内容によって財団事務局や文化観光局に即時に報告。</p>
--	----------------------------------

イ 利用促進及びサービスの向上、アイデア・ノウハウの一層の活用

<p>[取組内容]</p> <p>① 利用率の向上</p> <p>② 利用の促進</p> <p>③ グッズの販売</p> <p>④ 1階エントランスの活用</p> <p>⑤ 3階売店との連携</p> <p>⑥ 新たな貸出プランの開始</p> <p>⑦ 新たな利用者サービスの開始</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>目標利用率</p> <p>芸能ホール：79% 小ホール：68%</p> <p>*利用可能日に対する稼働率</p> <p>練習室：67% 制作室：45%</p> <p>*利用可能時間帯に対する稼働率</p> <p>■土日祝日の施設空き情報をホームページ、SNSで案内。</p> <p><input type="checkbox"/>利用希望者施設見学受け入れ12件以上。</p> <p><input type="checkbox"/>平日夜間の利用促進のための夜間見学会の開催2回以上</p> <p><input type="checkbox"/>練習室利用促進のため大学のダンスサークル10団体以上に宣伝活動実施。</p> <p><input type="checkbox"/>練習室、制作室の紹介ツール作成2種以上。</p> <p><input type="checkbox"/>オリジナルグッズ新商品発売開始1種類以上。</p> <p><input type="checkbox"/>地域イベントのインフォメーション実施2回以上。</p> <p><input type="checkbox"/>のげ茶屋とのタイアップ2回以上…一部再掲。</p> <p><input type="checkbox"/>撮影での貸出 年2回以上。</p> <p><input type="checkbox"/>経常公演期間中の空き時間の貸出 年4件以上。</p> <p>■商業的な撮影利用料金の設定。</p> <p><input type="checkbox"/>表方スタッフの配置サービス提供 2件以上。</p>
---	--

ウ 組織的な施設運営

<p>[取組内容]</p> <p>① 第三期提案の実行と課題解決を実現する適材適所の配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① ■人材の配置</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級</td> </tr> <tr> <td>チーフデザイナー</td> <td>1人</td> <td>課長補佐級・専門職員</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長	1人	非常勤	副館長	1人	課長補佐級	チーフデザイナー	1人	課長補佐級・専門職員
項目	人数	備考											
館長	1人	非常勤											
副館長	1人	課長補佐級											
チーフデザイナー	1人	課長補佐級・専門職員											

	<table border="1"> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>係長級</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>2人</td> <td>事業1、管理1</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>4人</td> <td>管理2、事業2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>3人2ポスト</td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td>1人</td> <td>2人1ポスト</td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td>30人</td> <td>最大予定人数</td> </tr> </table>	チームリーダー	1人	係長級	担当リーダー	2人	事業1、管理1	職員	4人	管理2、事業2	アルバイト	2人	3人2ポスト	公演表方チーフ	1人	2人1ポスト	にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数
チームリーダー	1人	係長級																	
担当リーダー	2人	事業1、管理1																	
職員	4人	管理2、事業2																	
アルバイト	2人	3人2ポスト																	
公演表方チーフ	1人	2人1ポスト																	
にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数																	
② 施設の安全管理を実現するシフト配置	<p>② ■勤務体制はシフト制とし、主催事業や貸館状況に応じて出勤職員、人数を決定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室 A 勤務（9:30～18:15）最少2人 B 勤務（13:15～22:00）最少2人 ・受付窓口 A 勤務（9:45～13:55）人数は状況による B 勤務（13:45～17:55）人数は状況による C 勤務（17:45～22:00）人数は状況による 																		
③ 大衆芸能分野の専門的人材の配置及び育成	<p>③ ■大衆芸能分野のプロデューサーを配置。</p> <p>チーフプロデューサー、アシスタントプロデューサー（事業担当職員）各1人を配置し、中期的に育成。</p>																		
④ その他の人材育成、チームワーク醸成	<p>④ ■市民サポーターや地域連携推進のため、職員がファシリテーターとしての役割を発揮。</p> <p>■研修参加や資格取得を奨励。</p> <p>■特定の課題、テーマについて全職員が意見を言える環境づくり。</p>																		

エ 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など市の重要施策を踏まえた取組

<p>[取組内容]</p> <p>① 個人情報保護・情報公開</p> <p>② 人権尊重</p> <p>③ 環境への配慮</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① ■「財団の個人情報保護に関する規程」「にぎわい座個人情報取扱マニュアル」を遵守。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ファックス送信や郵送の際のダブルチェックの徹底。 ■入場券販売に票券管理システムを導入し、紙ベースでの顧客情報保管を廃止。 <p>② ■人権研修への参加、職場内での研修実施。</p> <p>□にぎわいスタッフ向け接遇研修実施（年2回以上）</p> <p>③ ■施設の利用状況を細目に確認しながらの空調・照明のオンオフ操作による光熱水費の削減。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新たにゴミ処理有料化を開始し、ゴミの軽減と持ち帰りを
--	---

④ 市内中小企業優先発注	<p>促進。</p> <p>④市内中小業者への発注率</p> <p><input type="checkbox"/>備品・消耗品購入 90%以上</p> <p><input type="checkbox"/>修繕・備品の買い替え 90%以上</p> <p><input type="checkbox"/>印刷物 80%以上</p>
--------------	---

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理

[取組内容]	[達成指標]
<p>① 施設及び設備の維持保全及び管理</p> <p>② 小破修繕の着実な実行</p>	<p>① ■建築設備、舞台設備の施設保守管理業務項目一覧に明記された保全管理及び点検の遺漏ない実施。</p> <p>■委託業者により設備系及び消防系の目視点検を毎日実施。</p> <p><input type="checkbox"/>設備の不具合による施設貸出停止ゼロ。</p> <p><input type="checkbox"/>来館者アンケートにおける施設快適性評価 4 以上。</p> <p>② ■優先順位を的確に判断しての修繕、更新の実施。</p>

イ 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]
<p>① 事故防止対策、緊急時（防犯）対応</p> <p>② 感染症対策等</p> <p>③ 緊急時の体制、連絡体制</p>	<p>① <input type="checkbox"/>施設管理者有責による人身事故ゼロ。</p> <p><input type="checkbox"/>サービス介助士資格取得者在籍 1 人以上。</p> <p>■職員及び委託業者による巡回やモニタリングにより、危険、要介護者を早期に発見し、適切に対応。</p> <p>■施設の利用状況に合わせ、楽屋管理口のにぎわいスタッフが常駐し、開錠及び管理を実施。</p> <p>② ■職員及び委託業者による巡回で異常を早期に発見。</p> <p>■汚物処理は感染症を念頭におき、効果的に実施。</p> <p>③ ■ローテーション勤務の中、予め当日の責任者を明確にして対応。</p> <p>■自主事業や観客の多い貸館公演の日は、出勤職員を増やして対応。</p>

ウ 防災に関する取組

[取組内容]	[達成指標]
① 危機管理マニュアルの整備	① ■ 現行マニュアルの検証と改訂。

② 避難訓練	② <input type="checkbox"/> 異なる設定で全職員参加の避難訓練実施 年2回以上。 うち1回は町内会やマンション住民にも交えて実施。
③ 帰宅困難者及び避難者の受け入れ	③ <input checked="" type="checkbox"/> 非常時には一時滞在施設・避難受入施設と同等の対応を実施。

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]
① 利用料金収入の確保	① <input checked="" type="checkbox"/> 利用率および収入目標の達成 芸能ホール 79%、小ホール 68%、 練習室 67%、制作室 45% 収入計 20,800,000円
② チケット受託販売	② <input checked="" type="checkbox"/> チケット受託販売手数料の改訂 <input type="checkbox"/> 受託実績 24公演以上
③ 自主事業収入の増収	③ <input checked="" type="checkbox"/> WEB申込みなどチケット販売方法の変更 <input type="checkbox"/> 入場料収入 130,003,000円達成 <input checked="" type="checkbox"/> 団体誘致用広報チラシ作成 <input type="checkbox"/> 団体販売実績 月平均8団体以上
④ 協賛金の獲得	④ <input type="checkbox"/> 協賛（現物協賛を含む）3件以上
⑤ オリジナル商品開発および販売	⑤ <input type="checkbox"/> 商品売上 20万円以上。 <input type="checkbox"/> オリジナルグッズ新商品 1種類以上。
⑥ テレビ番組収録の誘致	⑥ <input type="checkbox"/> 経常公演のテレビ収録 年間6回以上
⑦ 経費削減	⑦ <input checked="" type="checkbox"/> 入札、見積もり合わせの徹底 <input checked="" type="checkbox"/> 計画的なチラシ発送による郵送料の削減
⑧ コスト意識	⑧ <input checked="" type="checkbox"/> シフト調整、公演表方チーフ制による業務分担の見直し等による超過勤務削減

イ 適切な収支構造および収支バランス（別紙のとおり）

平成29年度 「横浜にぎわい座」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	209,704,000		209,704,000		209,704,000	横浜市より
利用料金収入	20,800,000		20,800,000		20,800,000	
自主事業収入	135,303,000		135,303,000		135,303,000	
雑入	1,870,000	0	1,870,000	0	1,870,000	
印刷代	20,000		20,000		20,000	
自動販売機手数料	240,000		240,000		240,000	
その他(協賛金、事業負担金等)	1,610,000		1,610,000		1,610,000	
収入合計	367,677,000	0	367,677,000	0	367,677,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	100,274,000	0	100,274,000	0	100,274,000	
給与・賃金	83,723,000		83,723,000		83,723,000	
社会保険料	8,569,000		8,569,000		8,569,000	
通勤手当	4,797,000		4,797,000		4,797,000	
健康診断費	110,000		110,000		110,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	3,075,000		3,075,000		3,075,000	
事務費	4,201,000	0	4,201,000	0	4,201,000	
旅費	180,000		180,000		180,000	
消耗品費	1,001,000		1,001,000		1,001,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	150,000		150,000		150,000	
通信費	800,000		800,000		800,000	
使用料及び賃借料	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
横浜市への支払分	160,000		160,000		160,000	
その他	840,000		840,000		840,000	
備品購入費	700,000		700,000		700,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	70,000		70,000		70,000	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	150,000		150,000		150,000	
リース料	0		0		0	
手数料	100,000		100,000		100,000	
地域協力費			0		0	
事業費	119,127,000	0	119,127,000	0	119,127,000	
自主事業費	119,127,000		119,127,000		119,127,000	
管理費	113,284,000	0	113,284,000	0	113,284,000	
光熱水費	17,500,000	0	17,500,000	0	17,500,000	
電気料金	12,500,000		12,500,000		12,500,000	
ガス料金	3,300,000		3,300,000		3,300,000	
水道料金	1,700,000		1,700,000		1,700,000	
清掃費	12,000,000		12,000,000		12,000,000	
修繕費	1,580,000		1,580,000		1,580,000	
機械整備費	24,000,000		24,000,000		24,000,000	
設備保全費	40,204,000	0	40,204,000	0	40,204,000	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
専有部管理費	40,204,000		40,204,000		40,204,000	
共益費	18,000,000		18,000,000		18,000,000	
公租公課	7,521,000	0	7,521,000	0	7,521,000	
事業所税			0		0	
消費税	7,421,000		7,421,000		7,421,000	
印紙税	100,000		100,000		100,000	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	23,270,000	0	23,270,000	0	23,270,000	
本部分	23,270,000		23,270,000		23,270,000	
当該施設分			0		0	
支出合計	367,677,000	0	367,677,000	0	367,677,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 横浜にぎわい座 事業一覧

No.	実施時期	主催・共催・協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数 見込み(人)	実施回数
1	4月-3月	主催	横浜にぎわい寄席	芸能ホール	毎月1〜7日に開催する、公益社団法人落語芸術協会と一般社団法人落語協会による合同公演。両協会に所属芸人が同じ日の寄席に出演する。「横浜にぎわい独自の顔付け」で、落語と色物を楽しんでいただく寄席形式の公演。【四〜七月は開場15周年記念事業として開催】	8,400	84
2	4月-3月	主催	名作落語のタベ	芸能ホール	真打4人が古典落語をじっくり聞かせる、落語通を満足させる企画。今年度から出演者の幅を広げ、より企画性の高い公演に改訂。チケット料金、販売方法も変更し、集客につなげる。【四〜七月は開場15周年記念事業として開催】	1,320	12
3	4月-3月	主催	企画公演(演芸バラエティ)	芸能ホール	毎月8〜15日に実施する、落語・漫才・コント・講談・浪曲・奇術から喜劇や軽演劇等幅広くバラエティに富んだ内容を日替わりで提供する公演。ネタおろしや新作の発表、季節にちなんだ企画等、にぎわい座ならではのラインナップ。【四〜七月は開場15周年記念事業として開催】	28,500	103
4	4月-3月	主催	企画公演(のげシャレ公演)	小ホール	小ホールの規模・特性に合った内容・出演者によるお笑いライブ等の公演。【四〜七月は開場15周年記念事業として開催】	1,200	10
5	12月	主催	にぎわい座・能楽堂 連携公演	芸能ホール	横浜能楽堂と連携し、狂言と落語のコラボレーションなどにぎわい座オリジナル公演を開催。十二月興行内で実施予定。	200	1
6	4月-3月	主催	登竜門シリーズ in のげシャレ(若手育成)	小ホール	二ツ目から真打昇進5年目以内程度の若手演者の研鑽を積み、人気を定着させていくための場とするためのシリーズ公演。【四〜七月は開場15周年記念事業として開催】	2,000	20
7	4月-3月	主催	大人のための寄席体験 「落語のトビラ」3、4	小ホール	観客創造を目的にした講座型公演。若手落語家が案内役を務め、落語鑑賞、トークで寄席や落語をより楽しむヒントを提供。終演後は野毛の逸品を囲んでの交流会を開催。	140	2
8	通年	主催	寄席文化体験	小ホール/その他	寄席文字体験など寄席の文化を知るワークショップ。様々なチャネルで大衆芸能に触れる機会を創出。	40	5
9	10月-1月	共催	野毛まちなかキャンパス	小ホール/その他	野毛周辺の魅力を紹介する社会人向け大学講座。野毛地区まちづくり会、横浜商科大学との共催事業。「演芸場の舞台裏」「寄席や落語の楽しみ方」など。	30	5
10	通年	主催	バックステージツアー	芸能ホール/その他	普段知る機会が少ない舞台裏を、寄席を楽しむミニレクチャーを交えて紹介。春休み、夏休みはこども向けに実施。それ以外も団体や旅行企画等、要望に合わせて開催。	100	8
11	通年	主催	アウトリーチ	館外	29年度のアウトリーチ重点テーマである「高齢者施設」への出前演芸会、黄金町バザールでのアウトリーチ公演など。施設への来館が難しい方向けや、個性的なロケーションで実施。大衆芸能の可能性を広げる。	200	5
12	6月-10月	主催	寄席体験プログラム	芸能ホール	西区・中区の小学校4〜6年生を対象に、にぎわい寄席開催時の午前中に来館してもらい「寄席文化」を体験する公演。事業効果を高めるために教員向け講座の開催も。	1,800	6
13	7月-3月	主催	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	その他	全市的な取り組みである「横浜市芸術文化教育プログラム推進事業」に、大衆芸能等の分野のコーディネーターとして参画し、小中学校へのアウトリーチ活動を実施。	300	3
14	通年	協力等	教育機関連携事業	その他	教育委員会、幼稚園などからの要請に応じて実施する教育プログラムや落語を主題にした教員向け研修会の企画提供など。	200	3
15	通年	主催	情報事業 チラシ、ポスターの配架	館内	自主事業のチラシには「スタッフのお薦めコメント」をつけて、親しみやすさと公演の魅力を紹介。他会場公演チラシも分かりやすく配架する。	-	1
16	通年	主催	情報事業 電子大福帳	その他	全ての公演情報、演者を入力し、大衆芸能のアーカイブ化と継承に活用。	-	1
17	通年	主催	情報事業 情報提供、相談対応	その他	催事開催に関する相談対応や出演者の紹介などのコーディネート業務。	-	1
18	通年	主催	広報事業 事業広報、プロモーション	その他	ホームページ運営、Twitter配信、メールニュース発行など。Twitterは地域の行事や大衆芸能に関するミニ知識を交えて配信。区民優待デー、開場15周年などのキャンペーンを通じて、にぎわい座全体の広報を実施。	-	1
19	3月	主催	広報事業 メディア懇談会	その他	記者や編集者を対象にした懇談会を開催し、にぎわい座の活動を紹介。	-	1
20	通年	主催	展示事業 企画展、特別展、黄金町バザール2017サテライト 展示	2階情報コーナー	企画展(中島修展、お笑いばっちり倶楽部写真展、寄席文字展ほか)、黄金町バザール2017サテライト展示、特別展(野毛木道芸展、千支の絵展)など。	-	7
21	通年	主催	館内装飾	全館	季節らしい館内装飾により、ホスピタリティを向上。市内のアーティストにより演芸場らしい館内展示も開催。	-	1
22	通年	主催	街のにぎわいづくりへの寄与 野毛の飲食、物販との連携プロモーション	その他	野毛通手形と公演チケットの組み合わせ、街コンへの協力など公演鑑賞の楽しみに野毛での飲食の楽しみが加わる企画を実施し、地域の活性化に寄与。	-	5
31	通年	共催	街のにぎわいづくりのための地域との共催事業	小ホール	地域の団体が企画する文化活動に対して、にぎわい座施設の提供等の協力を通じて、地域の活性化に寄与していきます。	1,500	5
23	通年	主催	街のにぎわいづくりへの寄与 MM21地区からの誘客	芸能ホール/小ホール	MM21地区の就業者の交流団体(MMcc、かもめスクールなど)向けのイベントを開催し、人の流れを創出。	100	3
24	通年	協力等	市民サポーターほか	その他	アウトリーチ、広報活動、鑑賞者開拓に市民の力を活かし、ともににぎわい座を盛り上げていただく。職業体験やアートマネジメント実習、リサーチなどにも積極的に協力。	20	5
25	8月-11月	その他	ヨコハマトリエンナーレ2017 協力	その他	組織委員会からの要請により、連携企画や広報協力を実施。	-	1

平成29年度 横浜にぎわい座 事業一覧

No.	実施時期	主催・共催・協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数 見込み(人)	実施回数
26	通年	主催	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連	芸能ホール／小ホール	外国人による公演モニターの実施や、外国人のための寄席体験プログラムなど。	-	1
27	2月	共催	TPAM 国際舞台芸術ミーティングin横浜2018 協力	小ホール	TPAM参加カンパニーに小ホールを優先的に提供し、公演運営に協力。	300	1
28	2月	共催	横浜ダンスコレクション 2018 のげシャール公演 共催	小ホール	小ホールを優先的に提供し、公演運営に協力。	150	1
29	通年	主催	大衆芸能普及活動 賞切公演、修学旅行など	芸能ホール／小ホール	団体による賞切公演の受託や修学旅行、横浜遠足の受け入れなどに積極的に推進し、大衆芸能未経験者向けの鑑賞、参加、体験の機会を創出。	1,800	6